

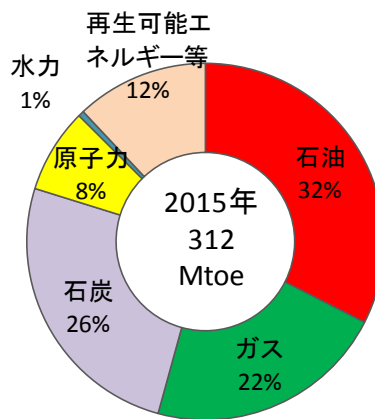
2-4 ドイツ

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量(2015年) : 312 百万 toe (日本の72%)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量(2015年) : 3.82toe (日本の111%)
- (3) エネルギー自給率(2015年) : 39%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量(2014年) : 723.3 百万 CO₂ 換算 ton (日本の60.8%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量(2014年) : 8.93CO₂ 換算 ton (日本の95.5%)
- (6) エネルギー源別可採年数(2015年末) : 天然ガス 5.4年、石炭 220年

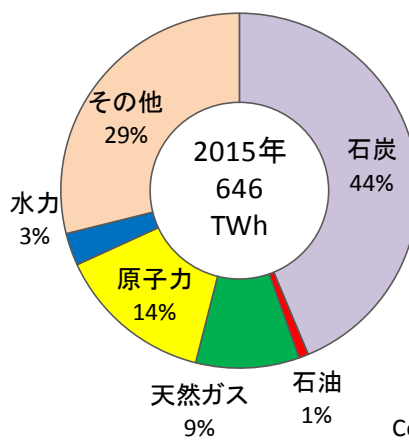
一次エネルギー供給構成 (2015年)



Country: Germany

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2015年)



Country: Germany

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策

(1) エネルギー政策担当機関

- 連邦経済エネルギー省 (BMWi) が経済・エネルギー政策を担当し、2016 年 12 月時点で Sigmar Gabriel 氏 (2013 年 12 月～) が同省大臣を務める。連邦環境・自然保護・建築・原子力安全省 (BMUB) は、環境保全、気候変動政策および原子力発電の保安規制を担当し、2016 年 12 月時点で Barbara Hendricks 女氏 (2013 年 12 月～) が同省大臣を務める。国内の電力・ガス・通信・郵便・鉄道等のネットワークについては連邦ネットワーク庁 (Bundesnetzagentur) が規制・監督。

(2) 基本政策

- ドイツのエネルギー政策の柱は Energiewende(エネルギーシフト)のキーワードで知られ①再生可能エネルギー、②エネルギー効率、③持続可能な発展を基本とする。

(3) 最近の動向

- E.ON は、2016 年 1 月 1 日付けで Uniper 社を設立し、同年 9 月に上場した。E.ON 本体は再生可能エネルギー、ネットワーク (送電)、顧客サービスに注力する。Uniper は水力、ガス火力、石炭火力、トレーディングを行う。原子力部門は当初分社を計画したが、政府の反対にあり本体に残すことを決めた。
- 2016 年 7 月、改正再生可能エネルギー法案 (EEG 2017) が議会で承認された。2017 年 1 月から 750kW 超の発電設備の買取をこれまでの固定価格から原則競争入札制度へと移行する。競争入札の対象となる設備容量には上限が設けられている。
- 2016 年 10 月、ドイツはパリ協定を批准した。また 2016 年 11 月には、2050 年までの温室効果ガス削減の具体的な行動を定める「Climate Action 2050」を閣議決定した。
- 国内で度重なるテロ事件から移民政策に対する反発が強まっており、移民に寛容な立場を取る Merkel 首相の支持率が低下している。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2016 年 5 月、丸川環境大臣は Hendricks BMUB 大臣と会談した。対話では、特に気候変動、資源効率性・3R、海洋ごみについて議論し、引き続き情報交換等の協力を行うことを確認した。また、脱炭素社会に向けた低炭素技術普及を推進するための二国間協力に関する共同声明への署名を行った。
- 日本企業の進出例
 - 三菱日立パワーシステムズ 火力発電 EPC
 - パナソニック、東芝、JX エネルギー 燃料電池
 - 住友電気工業 超電導送電ケーブル

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Germany

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		312 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		3.82 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.09 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		39 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量(2014年)		723.3 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量(2014年)		8.93 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	26 %
	石油	32 %
	天然ガス	22 %
	原子力	8 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	12 %
(8) エネルギーの輸入依存度		61 %
(9) 石油の輸入依存度		97 %
(10) 輸入原油の中東依存度		4.2 %
(11) 原油の輸入先	第1位	ロシア
	第2位	ノルウェー
	第3位	英国

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2016, IEA